

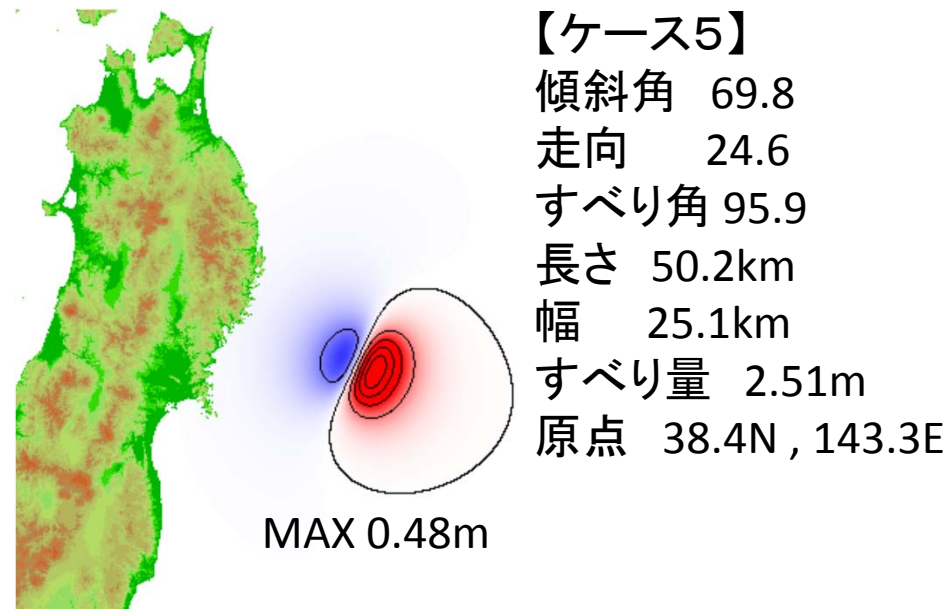
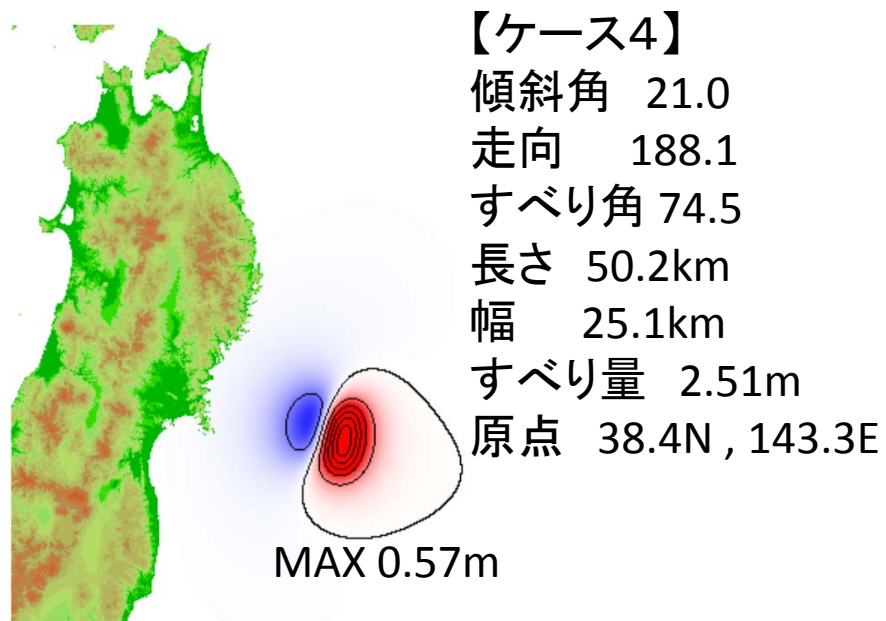
2011年3月9日 三陸沖での地震(気象庁M=7.3)での津波数値解析

2011年3月9日

東北大学大学院工学研究科 津波工学研究室

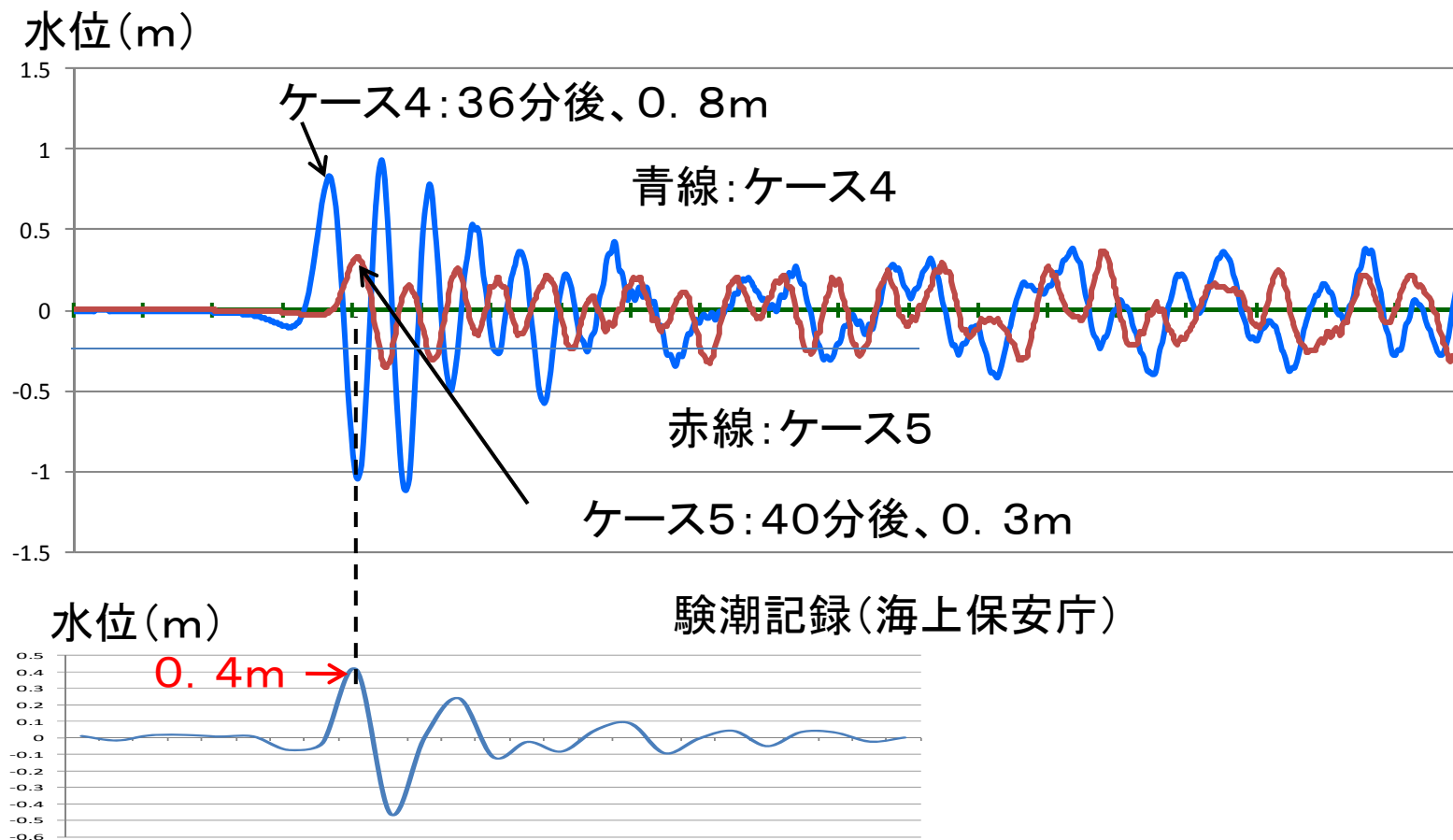
非常勤講師 阿部郁男

■初期水位分布



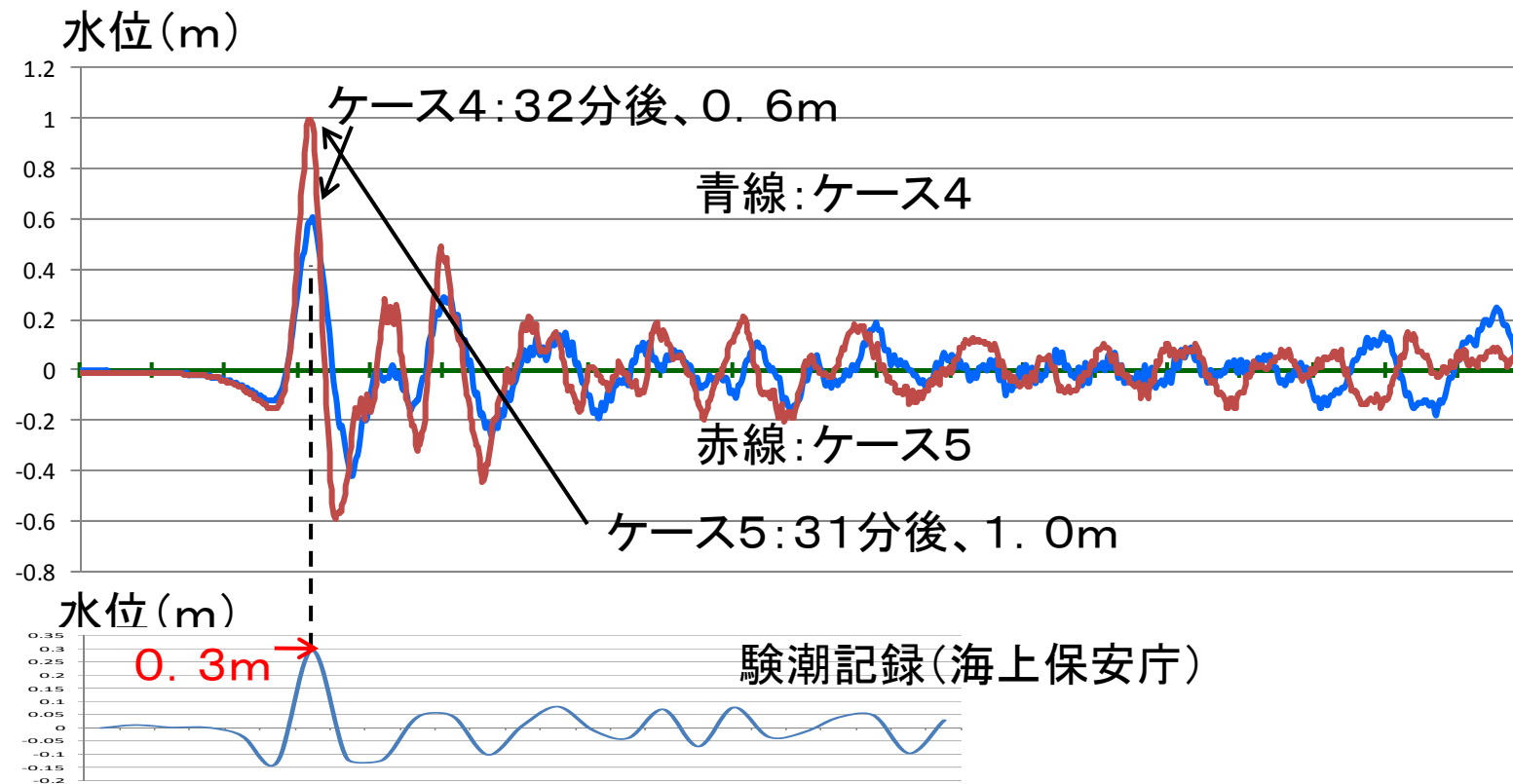
計算条件: 最詳細 150mメッシュ、堤防などあり
最詳細メッシュのみ非線形

■ 鮎川



鮎川でみると、ケース5のほうが験潮記録と計算値が一致する。
周期が験潮記録のほうが長いのは、津波成分の抽出によるものか？

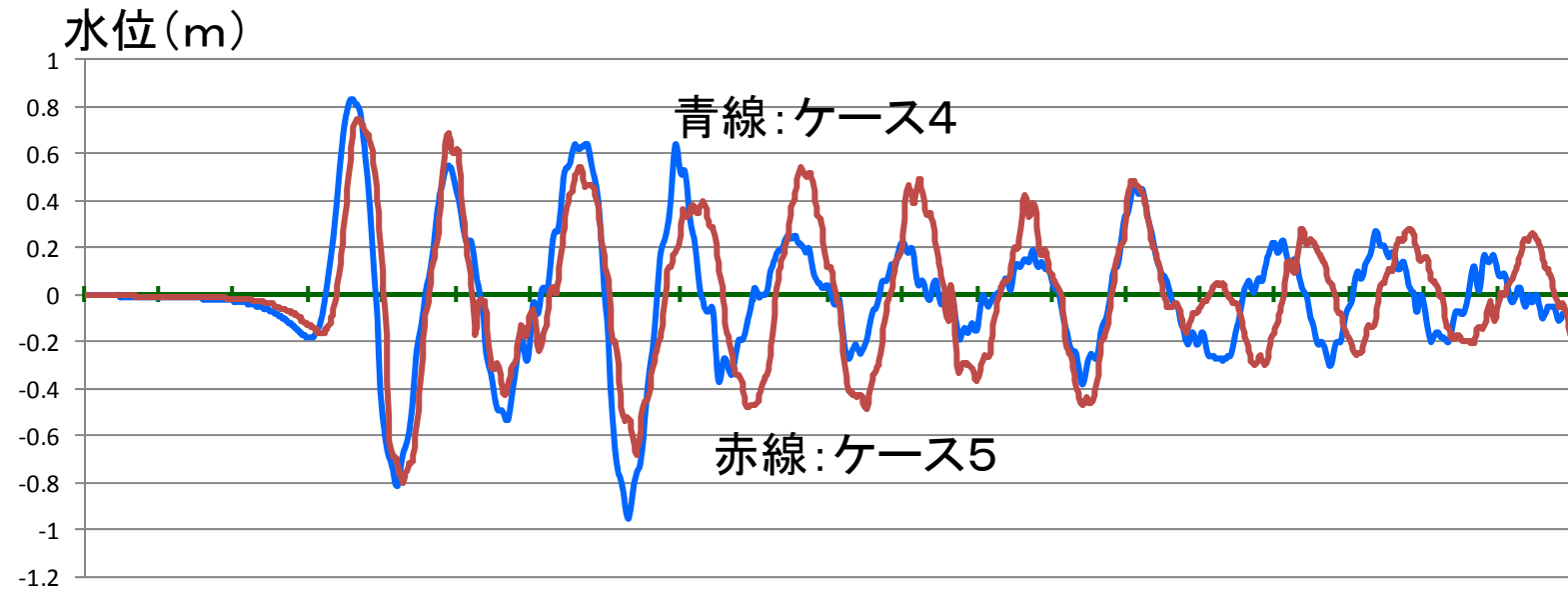
■大船渡



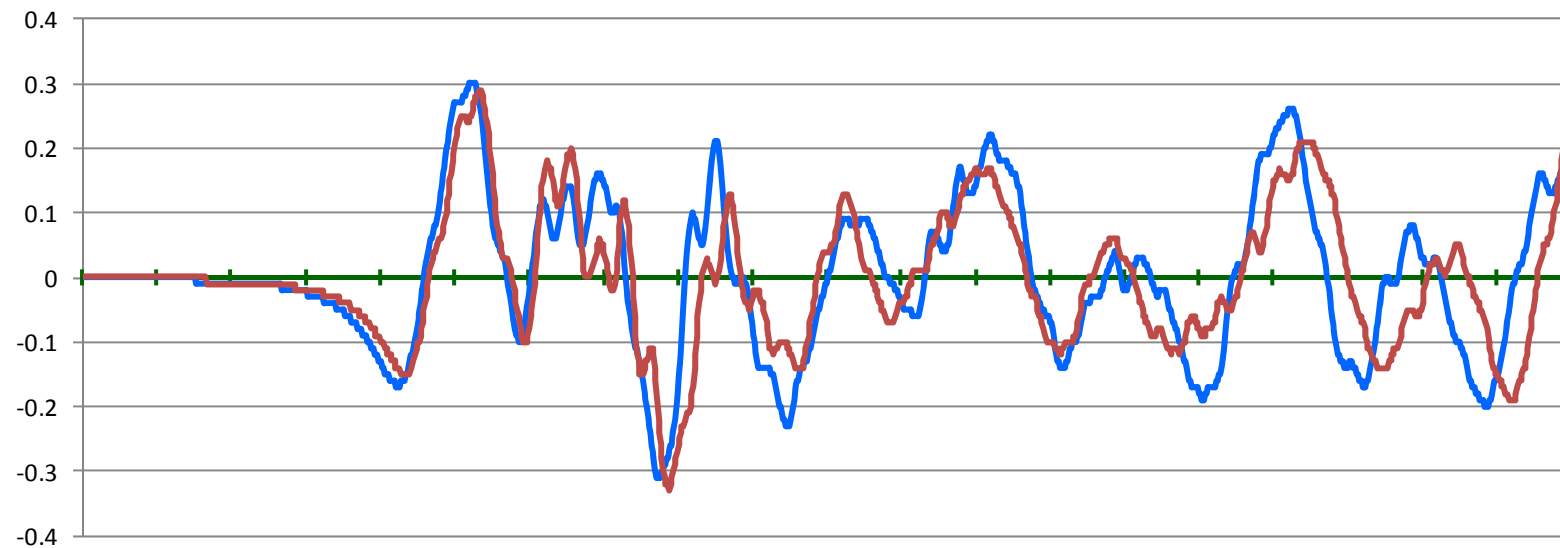
大船渡は、津波到達時間は、ほぼ一致。

験潮記録と高さが異なるのは、計算波形の出力点が堤防の外？(要確認)

■ 気仙沼(杉の下)

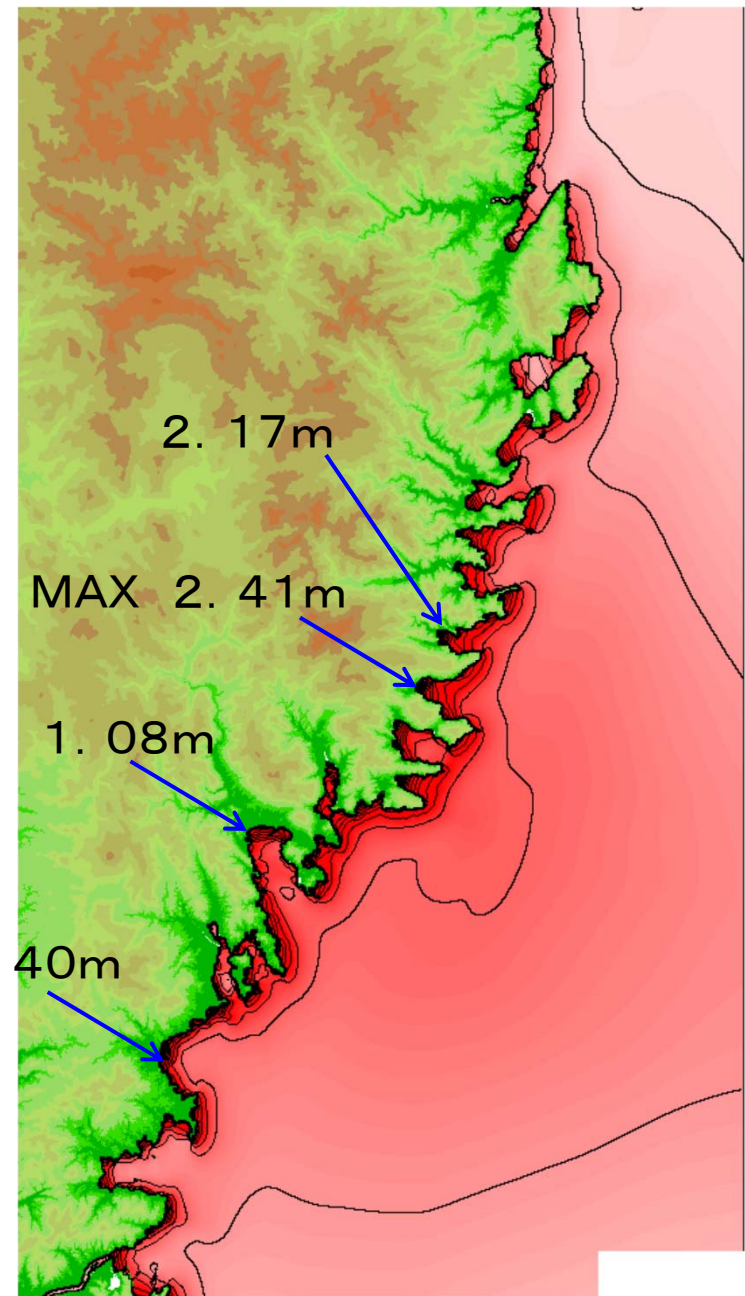
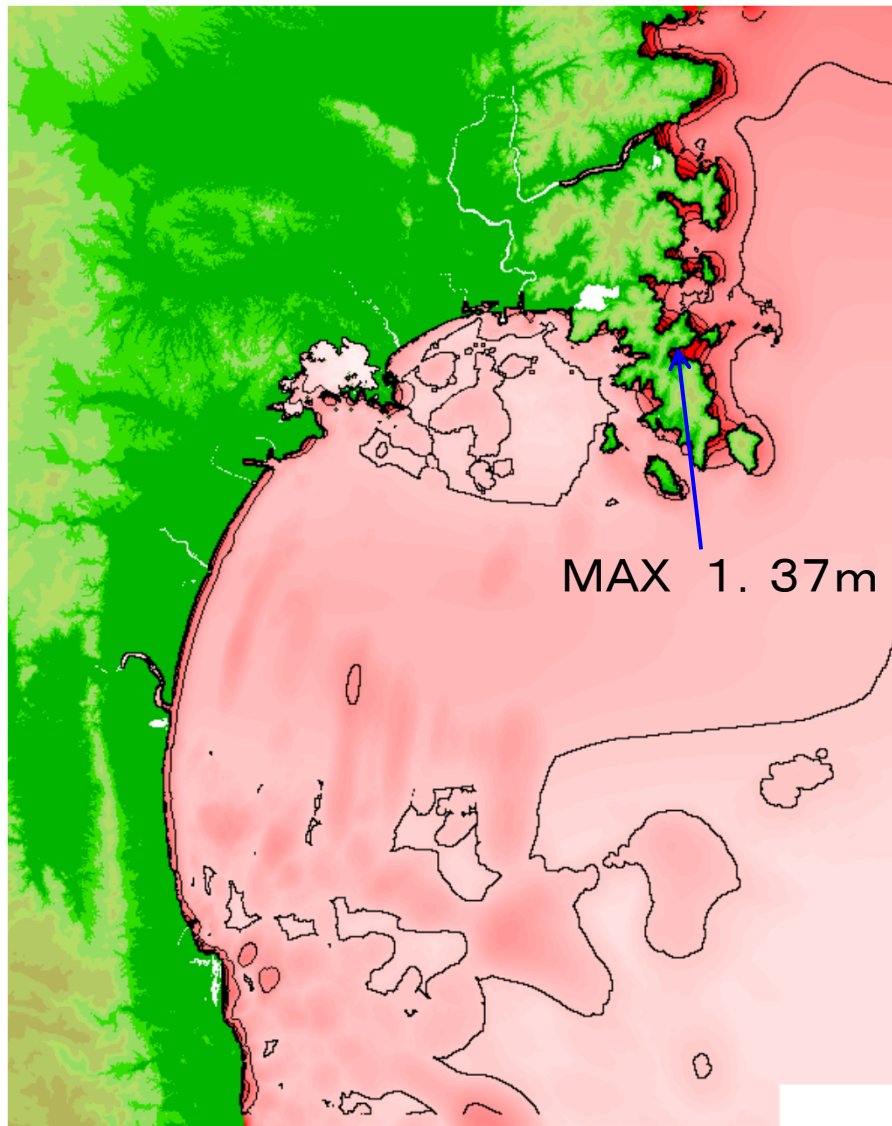


■ 気仙沼(神明崎)



気仙沼は、ケース4もケース5も大きな違いは見られない。

■最大津波高さの分布(ケース5、再現時間6時間)



岩手県沿岸には1～2mの津波が計算されました。